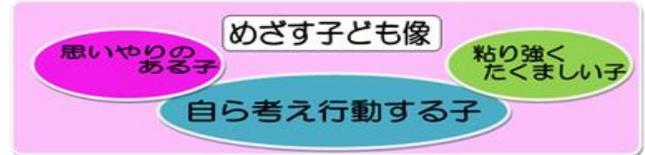




めざす学校像

互いに認め合い、高め合う学校
みんなが安心できる居心地のいい学校
開かれた学校（学校・家庭・地域がつながりあうことを大切にする学校）



野畑 Englishweek～イングリッシュウィーク

10月24日（月）～10月28日（金）5日間、「外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、音声や基本的な表現に慣れ親しむ」「外国語で聞き、伝え合う力の素地を養う」「主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。」を目標に全校で取り組みました。具体的には



1. 教室での朝のあいさつや授業指示、健康観察
2. 朝学習や給食時間に英語の歌や曲を歌う。
3. ウィークラリー（校内に隠されたアルファベットを見つけて、英単語を完成させる）



4. 放課後「Halloween quest」にチャレンジ。様々に仮装した先生を見つけて魔法をといてもらおう。



楽しい一週間でした。

非常変災時に備えて引き渡し訓練を実施します。

本校では、右記のようにレベル1からレベル4まで緊急時の下校対応を定めています。レベル4（地震、台風など重大な事態が発生したとき）における引き渡しが支障なく行えるように、ここ数年は日時をお知らせしないで実施していましたが、引き渡しの方法を多くの保護者に知ってもらうために、今回は日時をお知らせします。手順は、右記のとおりです。

避難場所の確認

ご家庭でも非常変災時に備えて避難場所の確認や何か起きたときの集合場所の確認などをしておきましょう。

可能な範囲でのご協力をお願いいたします。引き渡しが出来なかった児童については、学年別にカラーコースで下校します。学童を利用している人は、なかよしに行くのか学年別集団下校するのかしっかりと確認しておいてください。

11月8日（金）13:55～14:25予定です。

保存版

緊急時の下校対応

豊中市立野畑小学校

レベル	児童への対応	なかよし児童
レベル1	通常下校 ・複数で下校	なかよし学級へ
レベル2	学年別集団下校 ・学級で注意指導の上、学年単位で一斉下校 ・職員は下足室前で見送り、校区巡視を行う。	なかよし学級へ
レベル3	コース別集団下校 ・注意指導の上、学年又は低・中・高学年単位で一斉下校 ・4ルートごとにかたまって下校 ・職員は途中まで引率	なかよし学級へ
レベル4	保護者引渡し ・保護者の迎えによる下校 ・保護者の迎えがあるまで、学校待機	

手順

- ① メール配信
- ② 東門・正門 開錠
- ③ 各教室で保護者確認をして引き渡し
- ④ 学年別カラーコース別集団下校

実際に、レベル4の状態になったときは、最後の一人の方がお迎えに来られるまで学校でお預かりしますが、今回の訓練では、ある程度時間が経過した後で、カラーコース別学年集団下校をします。なかよし児童はなかよしの教室に行きます。

お願い

- ① 引取りに来られた方は、児童下足室で職員の指示に従ってください。
- ② 校舎内は**右側通行**をお願いします。
- ③ お子さんを連れ帰るときは、各担任に声をかけてください。
- ④ きょうだいを引き取る場合は、**上の階のお子様から順番**に引き取ってください。
- ⑤ 非常変災時に良かれと思って知り合いのお子さんを連れて帰るとかえって混乱します。そのための訓練なので友達を連れて帰ることはやめてください。
- ⑥ お迎えに来られた時に、集団下校が始まっている場合は、集団下校の見守りをお願いします。

全国学力・学習状況調査の結果概要

4月19日に6年生を対象に実施いたしました「全国学力・学習状況調査」における本校の結果分析と課題及び今後の取り組みについて以下のとおりお知らせします。この調査結果は学力や学習状況の一部であり、児童の学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではなく、ありません。それを踏まえた上で、学校と家庭、地域が学力や学習状況に関する課題を共有し、更に連携を深めていくことを目的として、お知らせいたします。

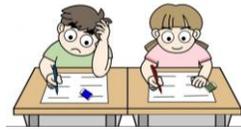
結果の概要（1）教科に関する調査より

国語

- 「話し言葉と書き言葉との違いを理解する」言葉の使い方に関する事項は比較的できています。
- 「登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える」「物語の全体像と関わらせながら表現の効果を考える」などの読む力は比較的できています。
- ▲記述式問題だけでなく、選択問題についても無答率が高いことから、文章をしっかりと読み答えようと努力することに課題が見られます。
- ▲文中において、漢字を正しく使うことに課題があります。
- ▲「互いの立場や意図を明確にしながらかつ画的に話し合い、自分の考えをまとめて書く」書く力に課題が見られます。

【まとめ】

- 学習した漢字をノートに繰り返し書いて練習するだけでなく、様々な場面で使用し定着できるように指導をしていく。
- 読んだことをもとにして、話し合ったり、教材文をもとに文章を書いたりするなどの言語活動を重視して指導していく。ここで培った思考力、表現力は国語科にとどまらず、他教科や総合的な学習の時間、日常生活の中でも活用していくことが大切である。
- 低学年から目的や意図に応じて情報を集め、根拠を挙げながら自分の考えを整理して書けるようにすることが必要である。



算数

- 「目的に応じてデータの特徴をとらえる、目的に応じてグラフを選択し、必要な情報を読み取る」など、データ活用の問題は比較的できています。
- 「数と計算の知識・理解」の問題の正答率は比較的良い。
- ▲「示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる」「伴って変わる二つの数量が比例関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる」など問題解決の方法を説明したり、記述したりする力に課題が見られます。
- ▲「数量が変わっても割合は変わらないこと」を理解する力に課題が見られます。

【まとめ】

- 基礎的な四則計算については、1年生から確実に定着するように繰り返し練習する。
- 図形の性質や構成要素を正しく理解し、作図できるようにする。
- 低学年から系統立てて、なぜそう考えたのか答えに至るまでの過程や理由を、図や文等を使って説明する活動を授業の中に多く取り入れて、身につけていく。
- 日常の場面に対応させながら、割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるように指導していく。

理科

- 観察、実験などに関する技能については、実験の過程や得られた結果を適切に記録したものを選ぶことは比較的できている。
- ▲観察、実験の具体的な数値や、それを分析した内容などを根拠として表現することに課題があります。
- ▲学習指導要領で重視されている問題解決の力を踏まえて初めて出題された「問題の見だし」（身の回りの生物や物の溶け方に関すること）については、気づいたことを基に分析して解釈し、適切な問題をみいだすことに課題が見られます。

【まとめ】

- 観察、実験の具体的な数値や、それを分析した内容などを根拠として表現する場面を多く設定するようにしていく。
- 自然の事物・現象に働きかけて得た事実について話し合う中で、自分や他者の気づきを基に差異点や共通点を捉え、問題を見出す場面を設定するようにする。
- 知識を日常生活に関連付けられるようにする。

